

第 2 章 学校施設の実態

1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 対象施設一覧

本計画は、学校教育系施設に属する小学校、中学校、給食センターを対象施設とします。これらの施設が保有する建築物のうち、小規模な建築物（概ね 200 ㎡以下）を除くものについて長寿命化計画を策定します。

① 小学校

岩倉市が保有する小学校 5 校で、小学校全体の延床面積は、28,762 ㎡となっています。平成 29 年度の児童数は、小学校全体で 2,387 人、学級数は 87 です。

② 中学校

岩倉市が保有する中学校 2 校で、中学校全体の延床面積は、17,066 ㎡となっています。平成 29 年度の生徒数は、中学校全体で 1,180 人、学級数は 39 です。

③ 給食センター

学校給食センターは平成 28 年度に完成し、延床面積は 2,367 ㎡です。

表. 学校施設一覧

施設名		所在地	対象 延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)
小学校	岩倉北小学校	本町南新溝廻間 2 番地	5,541	S42	731	25
	岩倉南小学校	大地町小森 93 番地 1	6,742	S40	495	17
	岩倉東小学校	東町掛目 1 番地	5,920	S40	149	8
	五条川小学校	神野町郷浦 18 番地	4,471	S50	392	15
	曾野小学校	曾野町井森 1 番地	6,088	S56	620	22
	合計	—	28,762	—	2,387	87
中学校	岩倉中学校	西市町竹之宮 24 番地	8,850	S48	807	26
	南部中学校	曾野町江毛 1 番地	8,216	S51	373	13
	合計	—	17,066	—	1,180	39
小中学校合計		—	47,966	—	3,567	126
学校給食センター		大地町下塚田 2-1	2,367	H28	—	—
総合計		—	48,195	—	—	—

※児童・生徒数および学級数は平成 29 年 5 月時点

(2) 児童生徒数及び学級数の変化

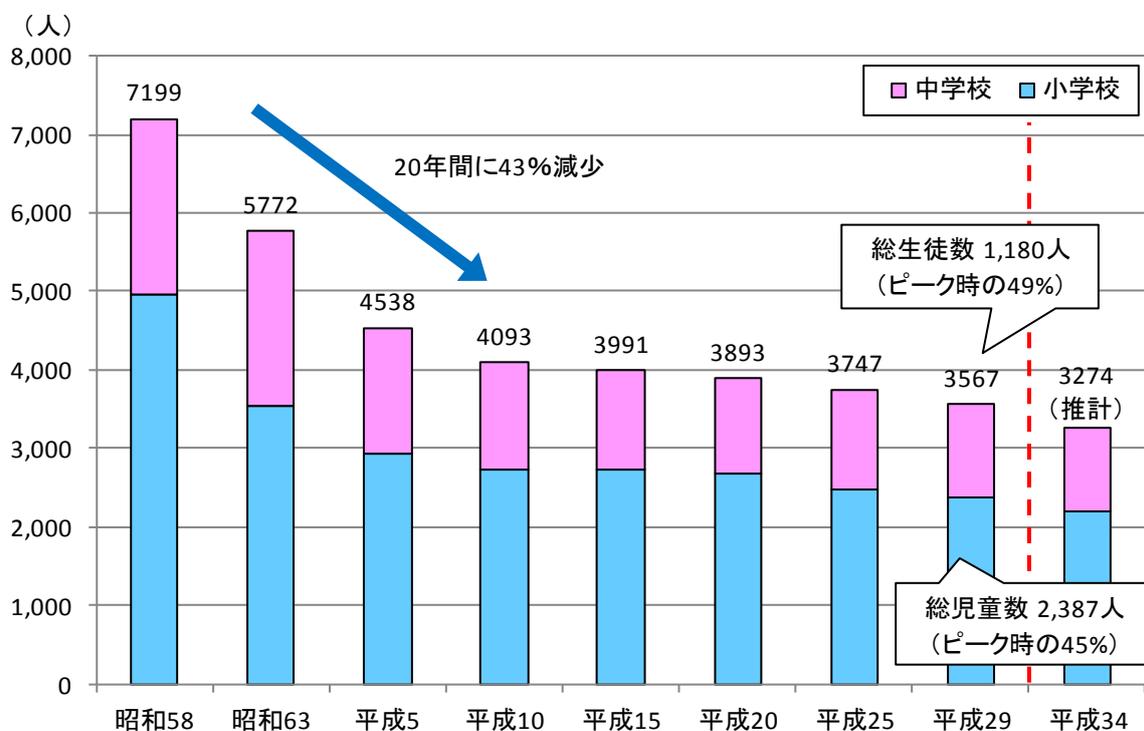
① 小学校

本市の小学校は昭和40年度から昭和56年度にかけて開校し、曾野小学校が開校した昭和56年度に総児童数は最も多くなり5,251人でした。その後、児童数は減少し、平成29年度にはピーク時の45%、平成34年度には現在の92%程度になる予想となっています。

② 中学校

本市の中学校は昭和48年度から昭和52年度にかけて開校し、昭和61年度に総生徒数は最も多くなり2,385人でした。その後、生徒数は減少し、平成29年度にはピーク時の49%となり、平成34年度には現在の92%程度になる予想となっています。

図. 児童・生徒数のピーク時からの変化状況



(3) 学校施設の配置状況

国立社会保障・人口問題研究所の平成 27 年度公表の推計をもとにした小学校ごとの将来児童数の推計では、一部の小学校では一時的な増加はあるものの、平成 67 年度までにはすべての小学校で平成 27 年度の児童数の 50%程度にまで減少する予想となっています。

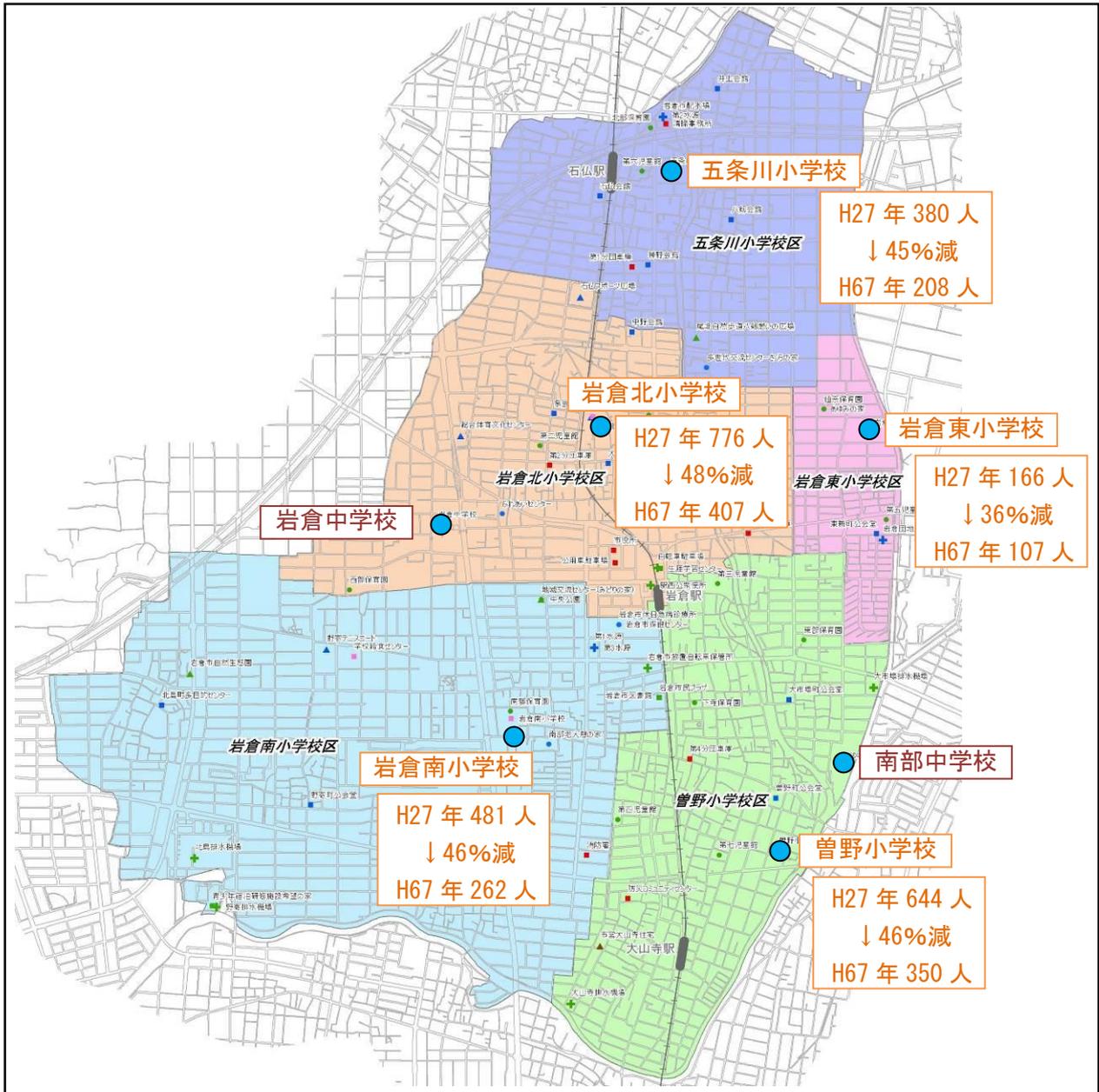
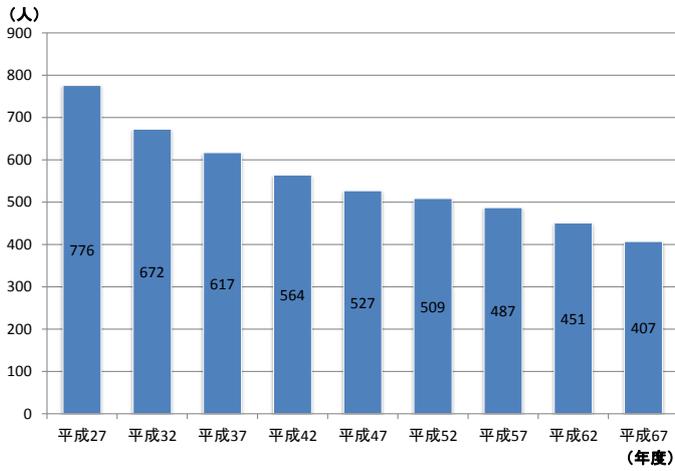
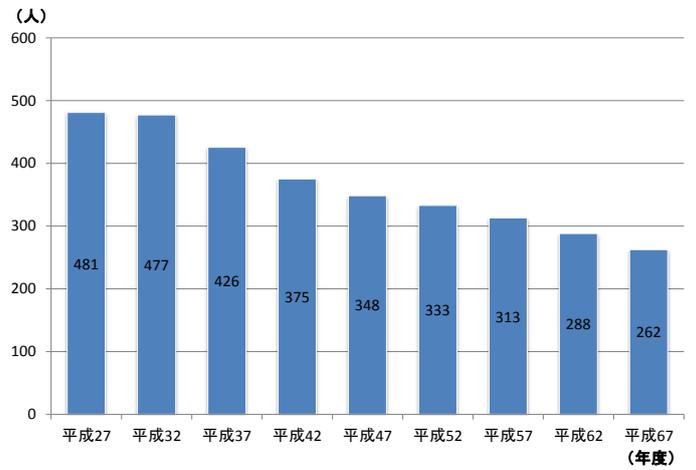


図. 社人研推計による児童数の推移

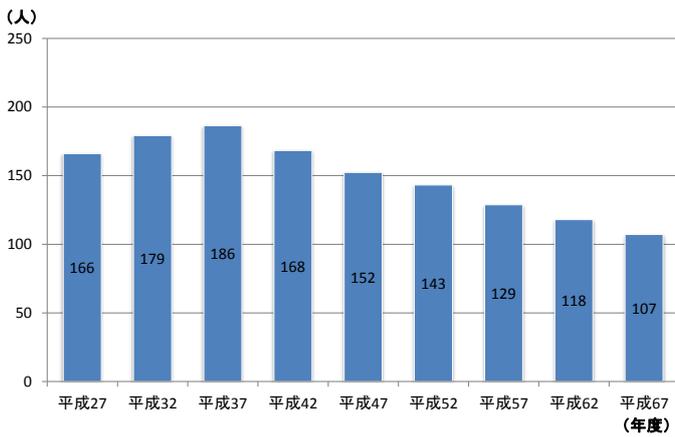
＜岩倉北小学校＞



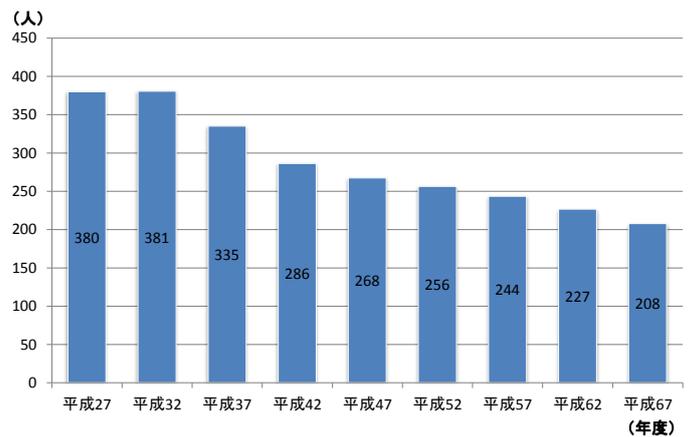
＜岩倉南小学校＞



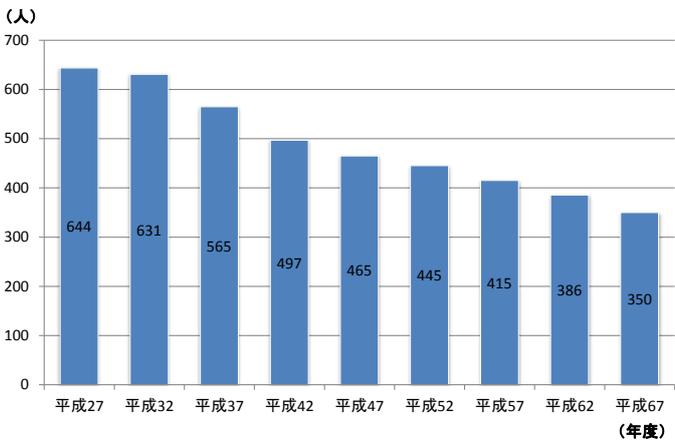
＜岩倉東小学校＞



＜五条川小学校＞

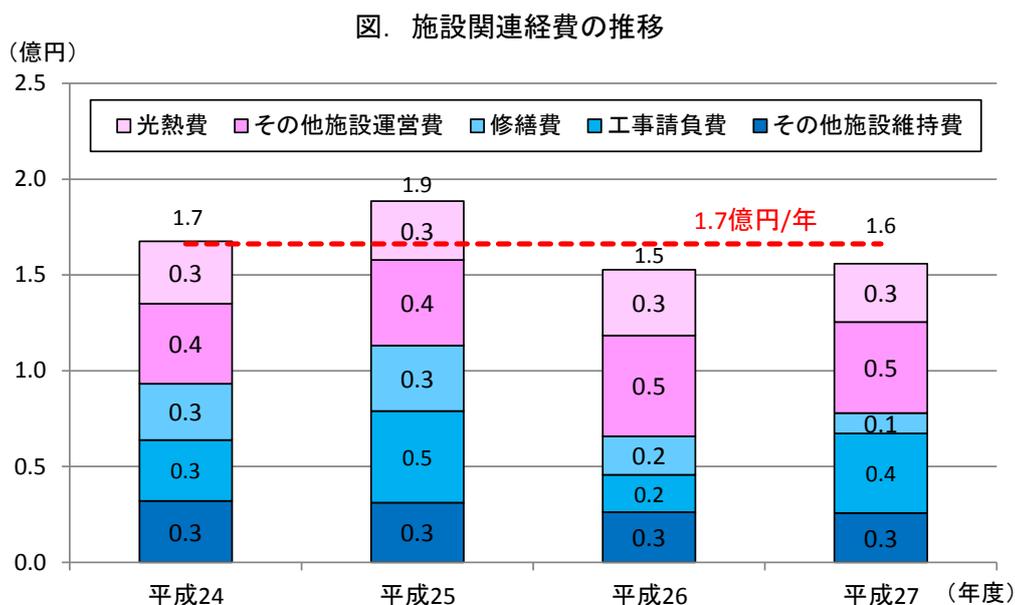


＜曾野小学校＞



(4) 施設関連費の推移

平成24年度から平成27年度までの小学校および中学校の施設関連経費は、約1.5～1.9億円で、年度ごとの平均は1.7億円/年となります。施設維持経費（修繕費・工事請負費・その他施設維持費）は約0.7～1.1億円と年度ごとに差がありますが、施設運営経費（光熱水費・その他施設運営費）は0.7～0.9億円とほぼ一定しています。

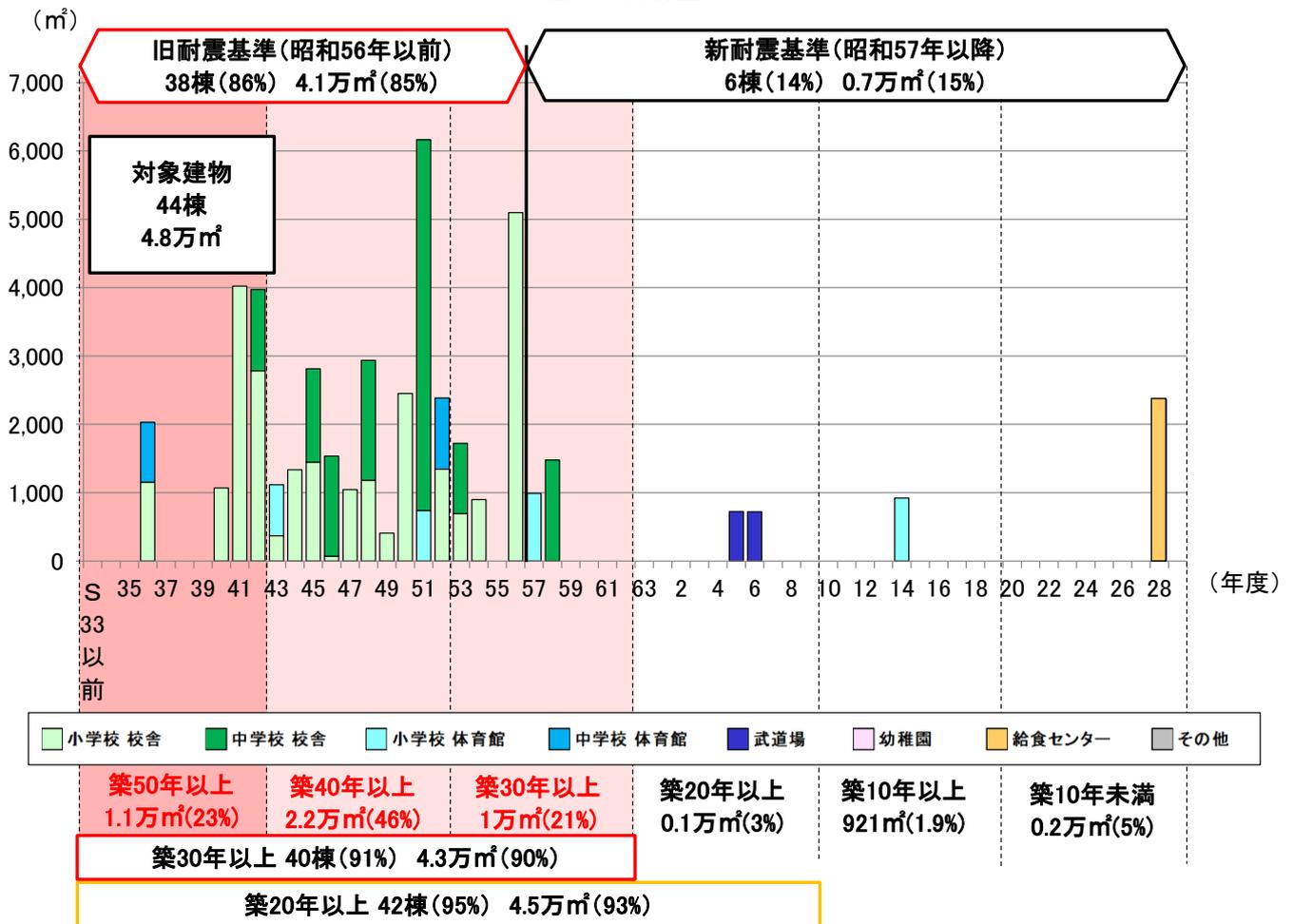


※岩倉市公共施設データベースより集計
※四捨五入により合計は一致しません

(5) 学校施設の保有量

対象建築物を建築年度別にみると、築30年以上の建築物が21%、築40年以上が46%、築50年以上が23%と、築年数が30年を超える建築物が全体的の90%に達し、老朽化がかなり進んでいます。旧耐震基準の建築物が85%を占めますが、全ての建築物で耐震補強済みです。

図. 建築年度別整備状況



2. 学校施設の老朽化の状況の実態

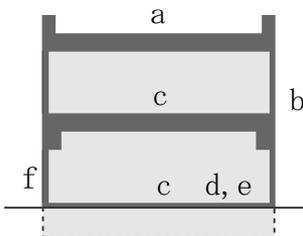
(1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

① 劣化調査について

平成 26 年度に実施された劣化調査では、調査結果に基づき、建築物の 6 つの部位（屋根、外装、内装、機械設備、電気設備、屋外）に対し、A～D の健全度判定を行いました。

《建築物の 6 つの部位》





部位	番号	点検対象部位項目
a. 屋根	19	屋根
b. 外装	20	外壁
c. 内装	22	天井・内壁
	23	床
d. 機械設備	61	冷温水配管、冷却水配管、油配管、ガス配管
	62	給水配管、排水配管
	59	空気調和機、エアコン、ファンコイル等
	63	ポンプ
e. 電気設備	32	分電盤・制御盤
	56	自家発電設備
	57	受変電設備
f. 屋外	8	敷地

＜建築物の劣化に関する健全度判定の基準＞

判定	劣化状況	健全度判定の定量的評価の目安				
		1)ひび割れ 外内装、屋外 等	2)浮き剥離 外内装、躯体、 設備等	3)腐食(錆) 外内装、躯体、 設備等	4)破損・欠損 躯体、基礎、屋 外等	5)作動不良 設備等
A	健全（ひび割れやへこみなどの劣化が無い、または、殆ど無い状態。）	劣化部が 全体の 0～ 10% 程度	0～10% 程度	部分的に 錆が発生 (1%以下)	-	施設が問題なく 本来の機能を維 持している状態 (築 10 年を目 安)
B	軽微な劣化がある状態（軽微なひび割れやへこみはあるものの、現状では修繕の必要が無い状態。）	10～40% 程度	10～30% 程度	部分的に 錆が発生 (1%を超え 33%未満)	0～20% 程度	多少の不具合が 確認されるが、 施設は機能して いる状態（築 20 年を目安）
C	重度の劣化がある状態（劣化が進行し、部材の交換や部分的な修繕が必要な状態。）	40～70% 程度	30～50% 程度	部分的に 錆が発生 (33%を超え 50%未満)	20～30% 程度	明らかに不具合 な箇所があり、 施設の機能が部 分的に損なわれ ている状態（築 30 年を目安）
D	最重要部材に重度の劣化がある状態及び部材の機能が全く維持していない状態（劣化が著しく進行し、部材の交換・更新が必要な状態。）	70～100% 程度	50～100% 程度	全体的に 錆が発生 (50%以上)	30～100% 程度	施設本来の機能 を全く維持して いない状態（築 40 年以上を目 安）

② 調査結果

小学校の建築物は岩倉東小学校の屋内運動場を除き、築30年以上が経過しており、50年以上経過している建築物も10棟あります。校舎の耐震化はすべての小学校で対応済みです。劣化状況評価では広範囲に劣化が見られる建築物が多く、健全度の平均値は58となっています。

表. 劣化調査結果（小学校）

建物基本情報												劣化状況評価						
学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦							
89	岩倉北小学校	北館西棟	1		小学校	校舎	RC	3	707	1961	S36	56	C	C	C	-	A	48
89	岩倉北小学校	北館中央棟	2		小学校	校舎	RC	3	1,400	1966	S41	51	C	C	C	A	A	55
89	岩倉北小学校	北館東棟	3		小学校	校舎	RC	3	728	1967	S42	50	C	C	C	A	A	55
89	岩倉北小学校	南館西棟	4		小学校	校舎	RC	3	595	1972	S47	45	A	C	C	A	C	53
89	岩倉北小学校	南館中央棟	5		小学校	校舎	RC	3	1,334	1969	S44	48	C	C	C	A	A	55
89	岩倉北小学校	南館東棟	6		小学校	校舎	RC	3	370	1968	S43	49	A	A	C	A	A	78
89	岩倉北小学校	西館	7		小学校	校舎	RC	2	407	1974	S49	43	A	C	C	A	A	60
90	岩倉南小学校	本館西端部	1		小学校	校舎	RC	3	748	1970	S45	47	C	A	C	-	A	68
90	岩倉南小学校	本館中央西	2		小学校	校舎	RC	3	914	1967	S42	50	C	C	C	A	C	48
90	岩倉南小学校	本館中央東	3		小学校	校舎	RC	3	1,051	1966	S41	51	C	C	C	A	A	55
90	岩倉南小学校	本館東端部	4		小学校	校舎	RC	3	448	1961	S36	56	C	C	C	-	A	48
90	岩倉南小学校	東館	5		小学校	校舎	RC	3	1,180	1973	S48	44	A	B	C	A	B	67
90	岩倉南小学校	西館	6		小学校	校舎	RC	3	757	1977	S52	40	A	A	C	A	A	78
90	岩倉南小学校	南館	7		小学校	校舎	RC	3	898	1979	S54	38	C	A	C	A	C	65
90	岩倉南小学校	屋内運動場	8		小学校	体育館	RC	2	746	1968	S43	49	A	C	C	B	-	51
91	岩倉東小学校	北館西棟	1		小学校	校舎	RC	3	1,571	1966	S41	51	C	C	C	A	C	48
91	岩倉東小学校	北館中央	2		小学校	校舎	RC	3	921	1967	S42	50	A	C	C	-	A	54
91	岩倉東小学校	北館東棟	3		小学校	校舎	RC	3	262	1970	S45	47	A	C	C	-	A	54
91	岩倉東小学校	南館西端部	4		小学校	校舎	RC	3	69	1971	S46	46	A	A	C	B	-	71
91	岩倉東小学校	南館中央西	5		小学校	校舎	RC	3	1,069	1965	S40	52	C	C	C	A	C	48
91	岩倉東小学校	南館中央	6		小学校	校舎	RC	3	220	1967	S42	50	C	C	C	-	A	48
91	岩倉東小学校	南館中央東	7		小学校	校舎	RC	3	437	1970	S45	47	B	C	C	A	-	53
91	岩倉東小学校	南館東端部	8		小学校	校舎	RC	3	450	1972	S47	45	C	C	C	-	A	48
91	岩倉東小学校	屋内運動場	9		小学校	体育館	RC	2	921	2002	H14	15	C	C	C	A	A	55
92	五条川小学校	本館西棟	1		小学校	校舎	RC	3	2,452	1975	S50	42	B	C	C	A	C	51
92	五条川小学校	本館中央	2		小学校	校舎	RC	3	587	1977	S52	40	A	B	C	A	A	70
92	五条川小学校	本館東棟	3		小学校	校舎	RC	3	692	1978	S53	39	A	C	C	A	A	60
92	五条川小学校	屋内運動場	4		小学校	体育館	RC	1	740	1976	S51	41	B	C	B	A	A	71
93	菅野小学校	本館	1		小学校	校舎	RC	4	5,098	1981	S56	36	B	C	C	A	B	55
93	菅野小学校	屋内運動場	2		小学校	体育館	RC	2	990	1982	S57	35	B	C	C	A	A	58

- ※1 岩倉南小学校の南館には、放課後児童クラブの延床面積 130 m²を含む。
 ※2 岩倉東小学校の北館東棟には、放課後児童クラブの延床面積 87 m²を含む。

中学校の建築物は、武道場以外のすべての建築物で築30年以上が経過しており、岩倉中学校の北館西棟と屋内運動場は築50年以上が経過しています。校舎の耐震化はすべての中学校で対応済みです。劣化状況評価では広範囲に劣化が見られる建築物が多く、健全度の平均値は59となっています。

表. 劣化調査結果（中学校、学校給食センター）

基準 2017

■: 築50年以上 ■: 築30年以上
 A: 概ね良好 C: 広範囲に劣化
B: 部分的に劣化 D: 早急に対応する必要がある

建物基本情報													劣化状況評価					
学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦							
94	岩倉中学校	北館西棟	1		中学校	校舎	RC	3	1,191	1967	S42	50	B	C	C	A	A	58
94	岩倉中学校	北館中央	2		中学校	校舎	RC	3	1,465	1971	S46	46	B	C	C	A	B	55
94	岩倉中学校	北館東棟	3		中学校	校舎	RC	3	1,477	1983	S58	34	C	C	C	A	A	55
94	岩倉中学校	南館西棟	4		中学校	校舎	RC	3	1,367	1970	S45	47	B	C	C	A	B	55
94	岩倉中学校	南館東棟	5		中学校	校舎	RC	3	1,757	1973	S48	44	B	C	C	A	B	55
94	岩倉中学校	屋内運動場	6		中学校	体育館	RC	2	874	1961	S36	56	B	C	C	A	-	53
94	岩倉中学校	武道場	7		中学校	武道場	RC	1	719	1994	H6	23	A	B	C	A	A	70
95	南部中学校	北館西棟	1		中学校	校舎	RC	4	1,390	1976	S51	41	C	C	C	A	B	52
95	南部中学校	北館東棟	2		中学校	校舎	RC	4	2,691	1976	S51	41	C	C	C	A	B	52
95	南部中学校	南館西棟	3		中学校	校舎	RC	2	1,343	1976	S51	41	A	B	C	A	A	70
95	南部中学校	南館東棟	4		中学校	校舎	RC	4	1,029	1978	S53	39	B	C	C	A	B	55
95	南部中学校	屋内運動場	5		中学校	体育館	RC	2	1,040	1977	S52	40	B	C	C	A	B	55
95	南部中学校	武道場	6		中学校	武道場	RC	1	723	1993	H5	24	B	B	B	A	A	81
96	学校給食センター	調理室・事務室	1		給食センター	給食センター	S	1	2,367	2016	H28	1	-	-	-	-	-	0

<部位別劣化度集計>

年団別に劣化状況を整理すると、築30年を経過した建築物ほどC評価の割合が高くなります。外壁および内部仕上げでは、その傾向が顕著にみられます。

図. 屋根・屋上年度別劣化状況

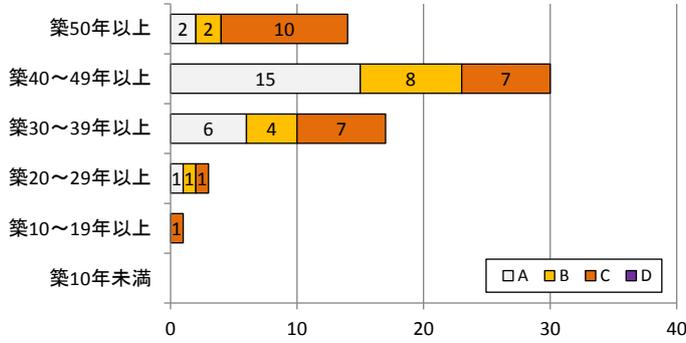


図. 外壁年度別劣化状況

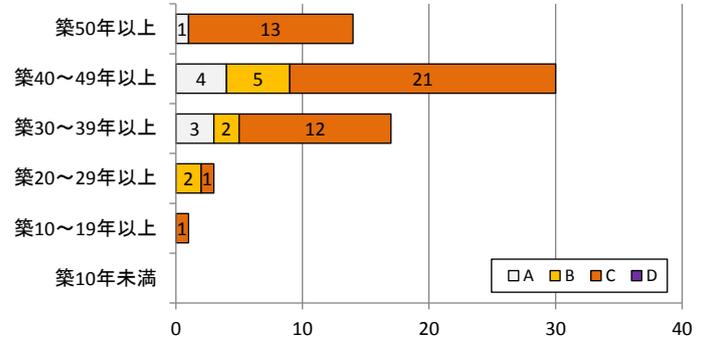


図. 内部仕上年度別劣化状況

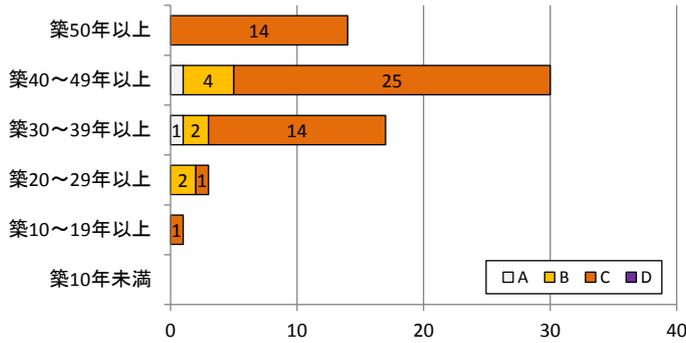


図. 電気設備年度別劣化状況

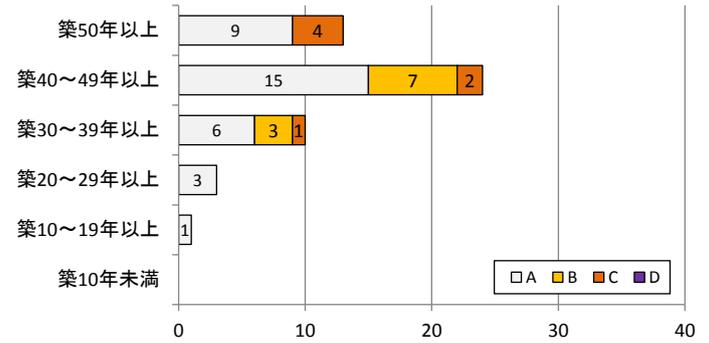


図. 機械設備年度別劣化状況

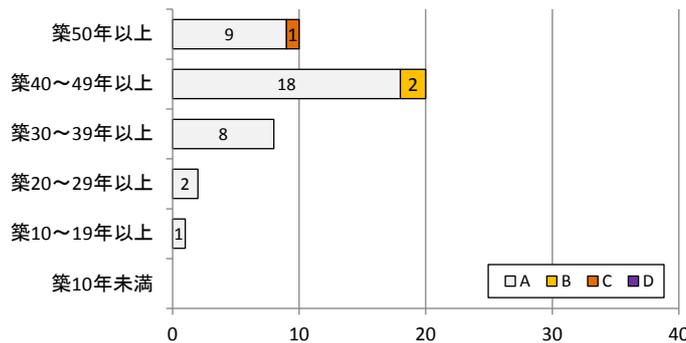


図. 岩倉北小学校配置図

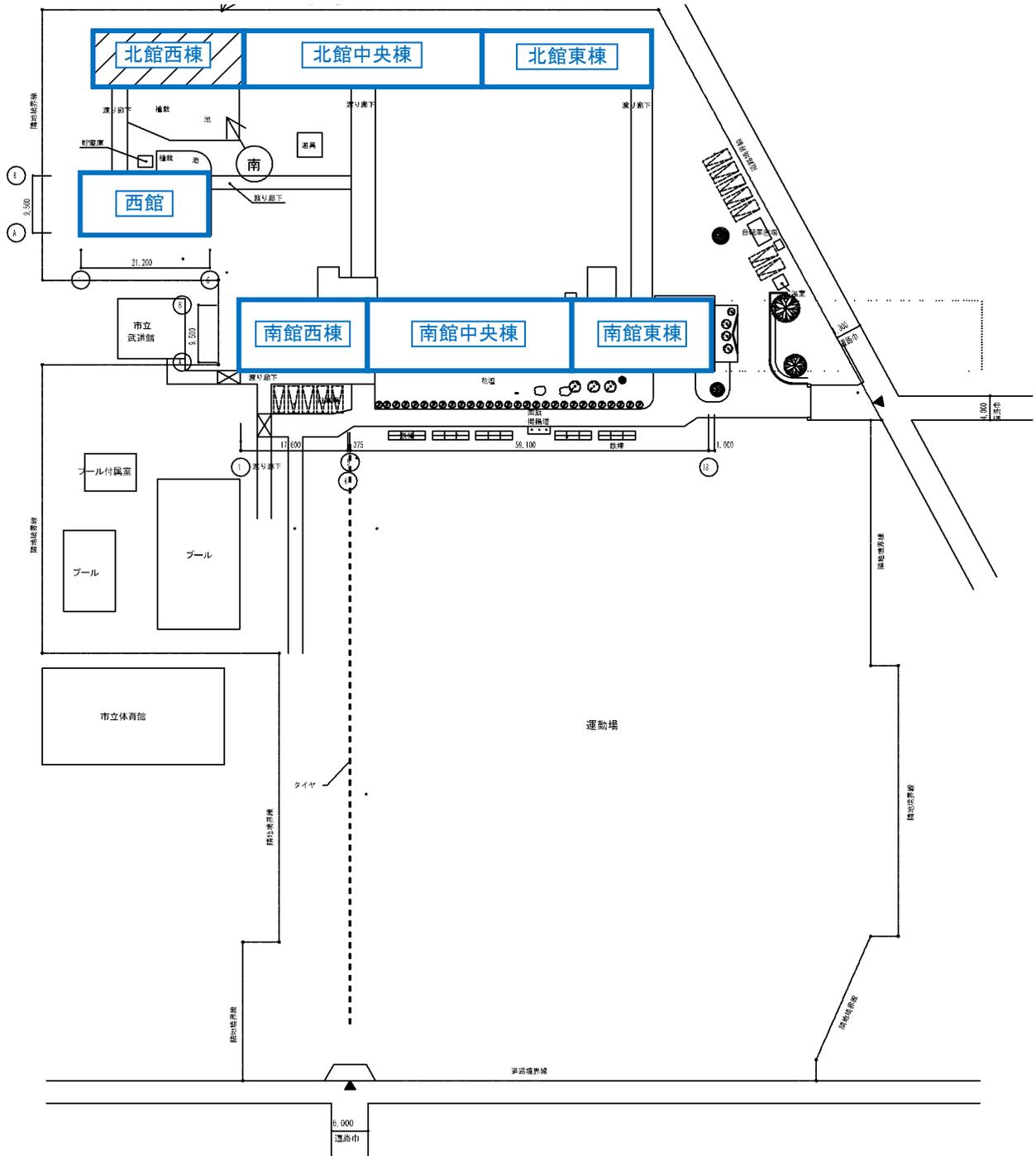


図. 岩倉南小学校配置図

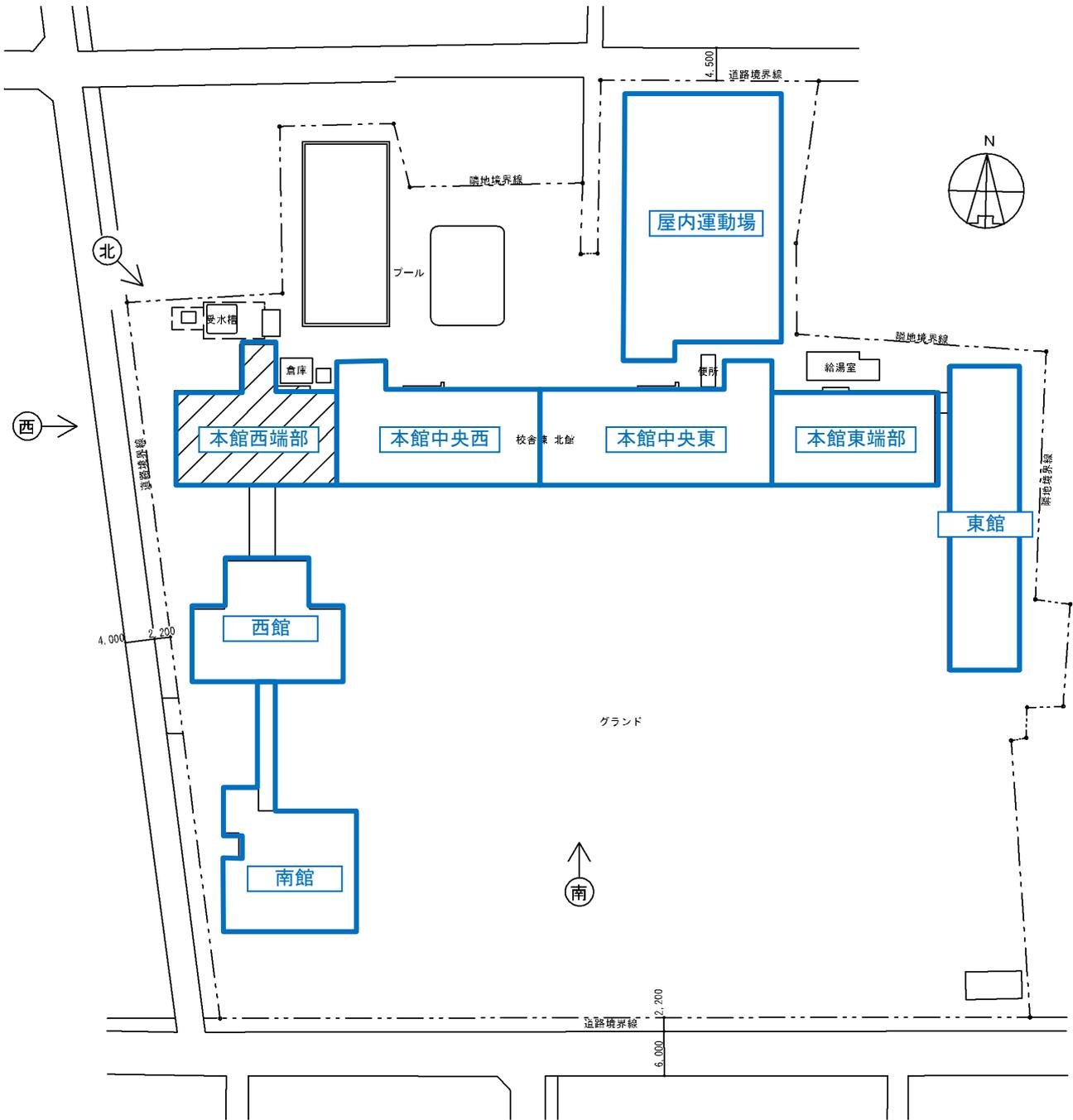


図. 岩倉東小学校配置図

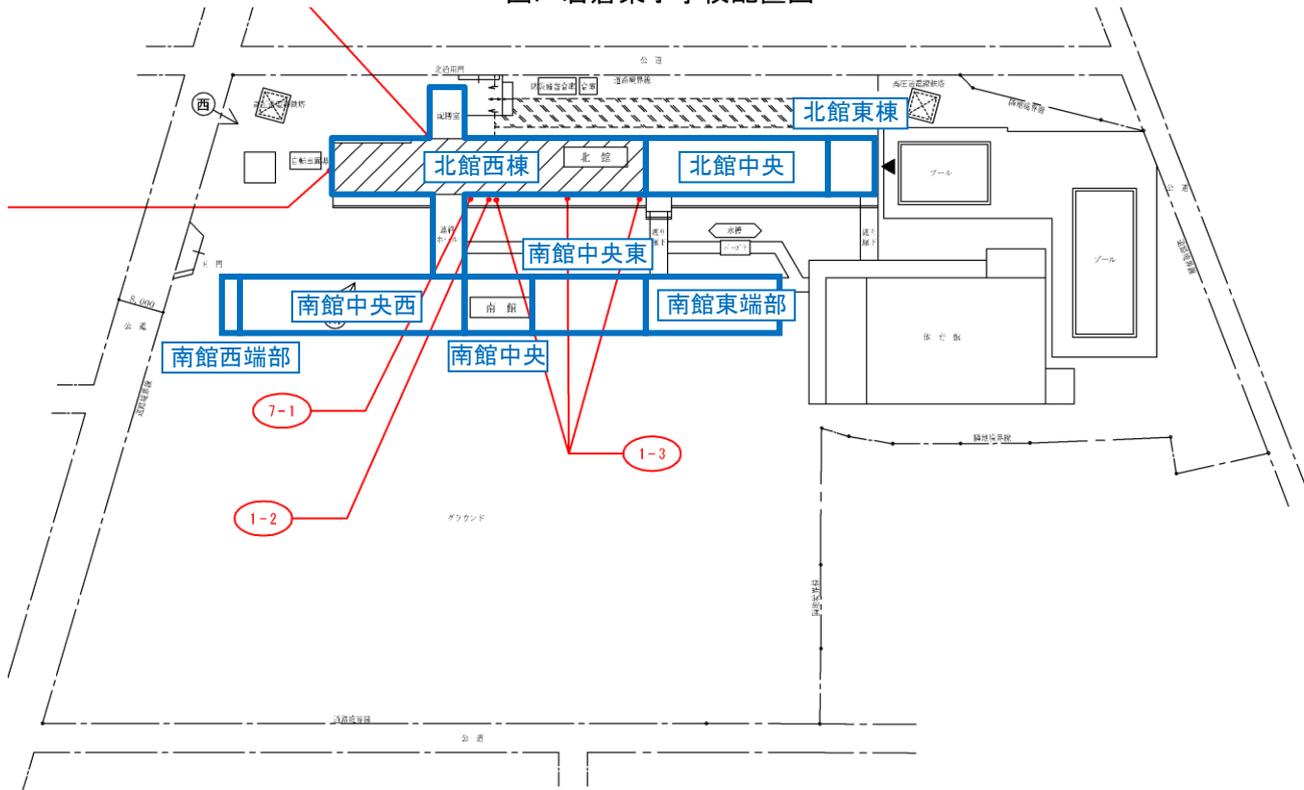


図. 五条川小学校配置図

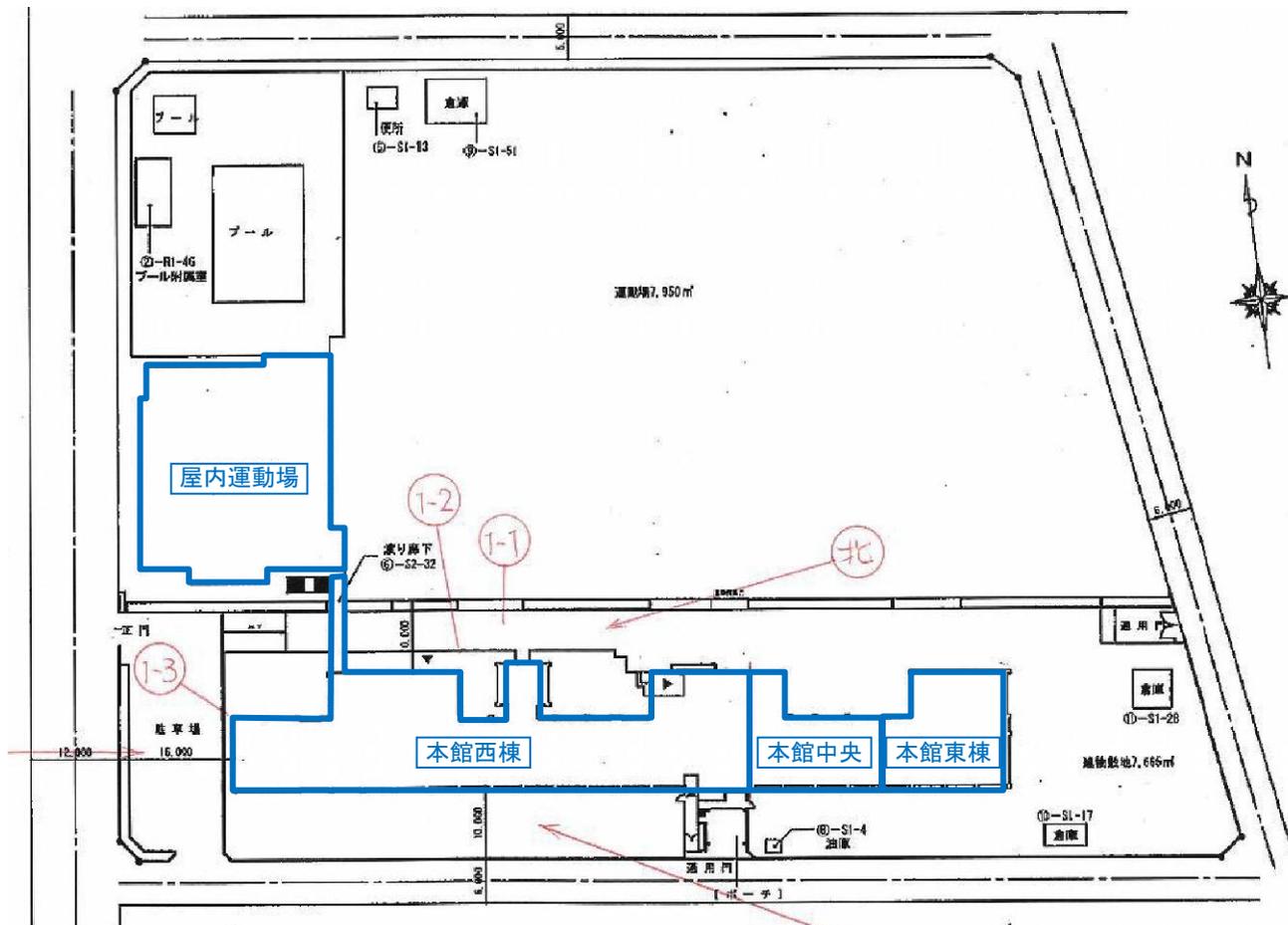


図. 曾野小学校配置図

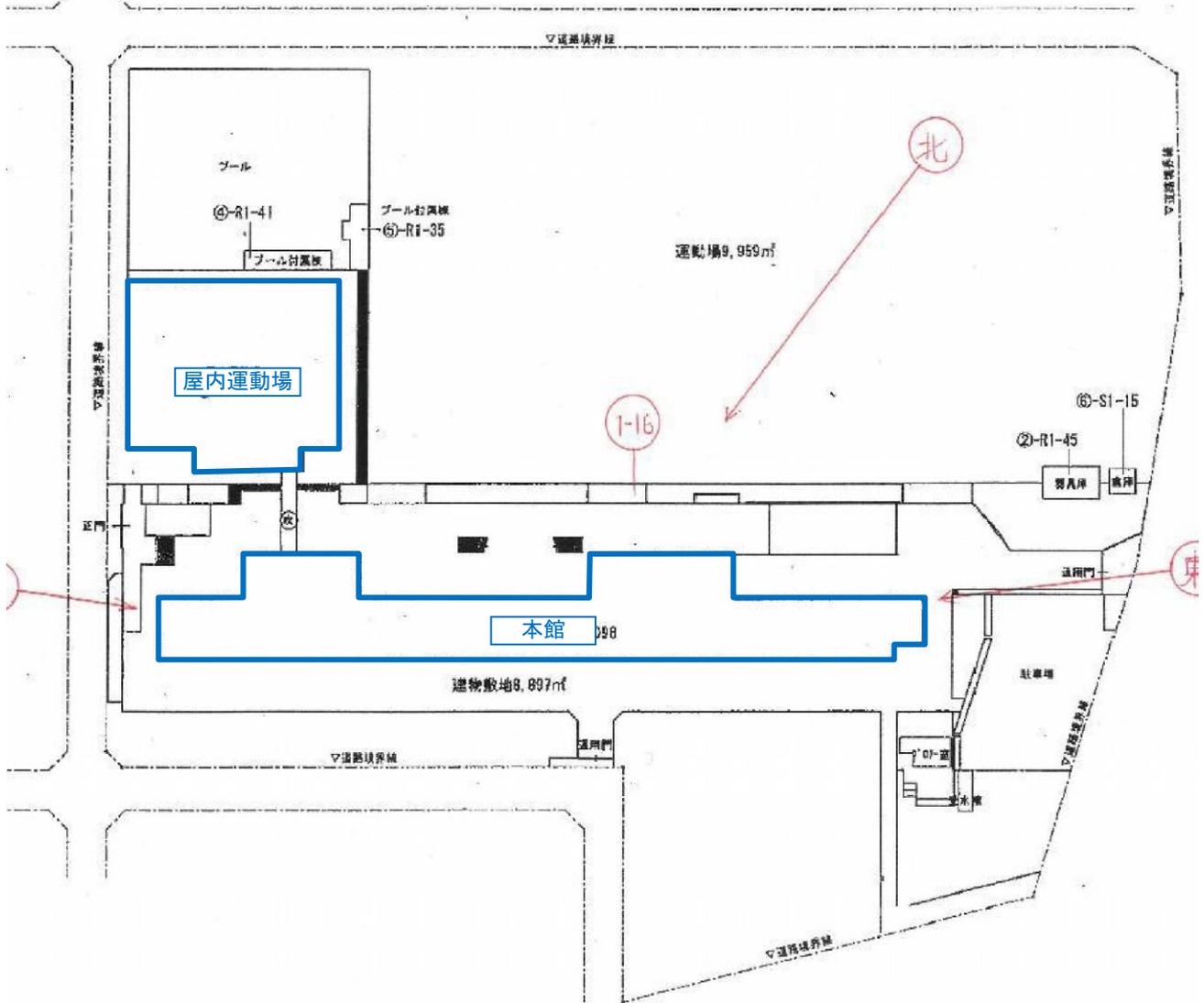


図. 岩倉中学校配置図

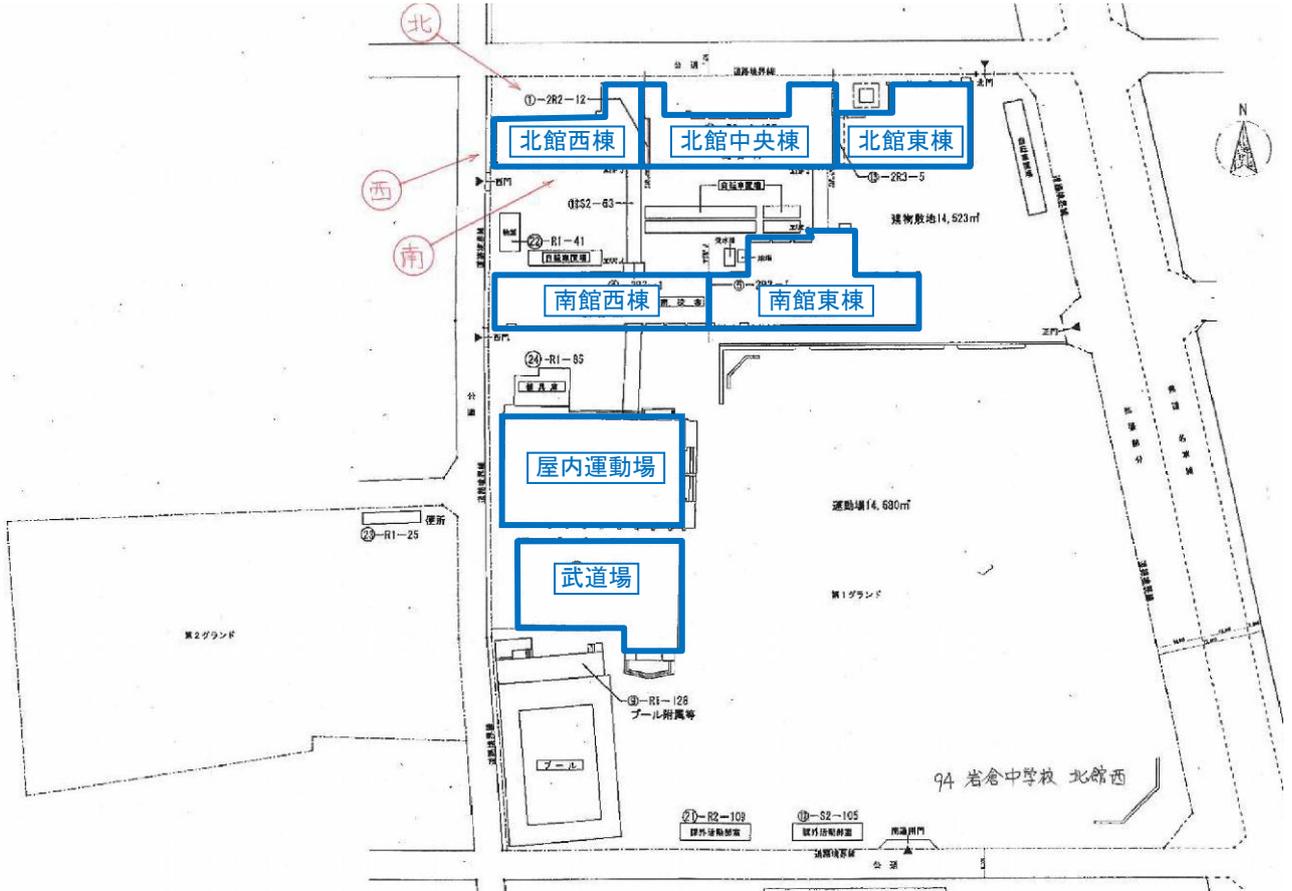


図. 南部中学校配置図

